

EA1伊勢湾岸自動車道 維持修繕業務におけるトラック荷台からの機材飛散事象

【発生日時】 令和元年6月10日（月） 14：50頃

【発生場所】 伊勢湾岸自動車道 下り線 豊明IC流出部付近（19.6KP～19.9KP付近移動中）

【工事名】 2019年度 東名高速道路 管内維持修繕業務

【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社

【概要】 作業のため伊勢湾岸道を路肩移動中、工具箱のフタがきちんと閉められていなく、飛散防止用ネットもかけられていなかったため、フタが走行車線に飛散した。その後、直後に管理隊が走行しており、走行車線より回収済み。

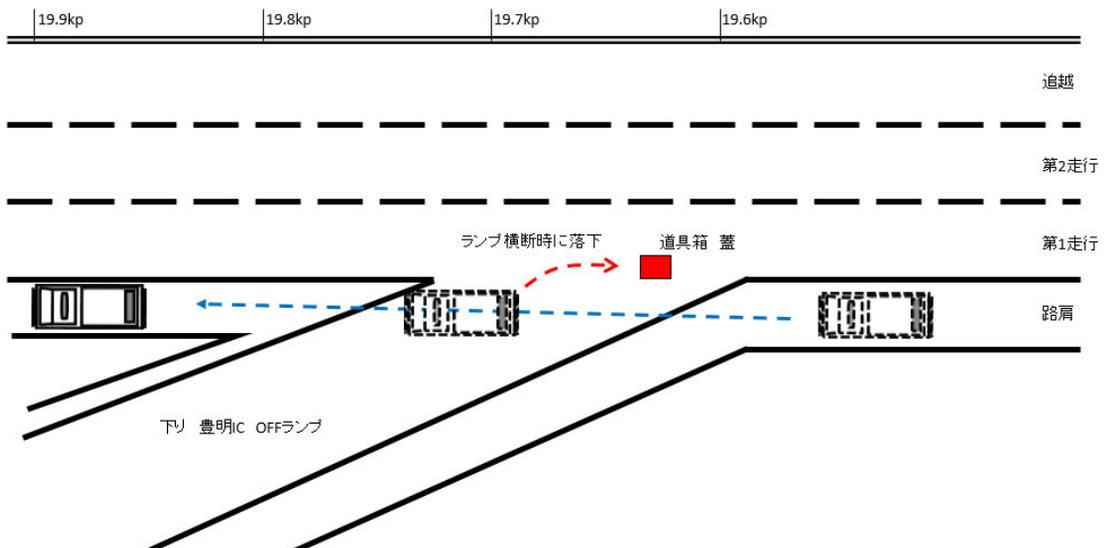
【被害状況】 回収物に踏まれた跡はあるが、不明(17:30現在 管制・高速隊・客センに確認、通報等なし)

【時系列】 6/10 14：50 事象発生。
 14：52 後方を通りかかった管理隊により落下物回収。
 14：53 作業員(運転手)がその場行き落下物を引き取り
 15：10 管理隊より警察・DKCに問い合わせ等が入電されていない事を確認
 15：45 現場よりメンテ名古屋現場代理人へ詳細報告
 16：30 メンテ代理人よりHSCへ連絡（事故の写真等の送付）

【備考】 今回の事象の発生原因

- ・工具箱ふたを閉めたつもりがしっかりとロックまで掛かっていなかった
- ・シート養生はしていたが、荷台後方部まで隙間無く掛かっていなかった。

【作業状況図】



【荷台の状況】



【飛散してしまった道具箱ふた】



1. 今回の事象の発生原因

- ・工具箱ふたを閉めたつもりがしっかりとロックまで掛かっていなかった
- ・シート養生はしていたが、荷台後方部まで隙間無く掛かっていなかった

2. 今迄実施してきた事故防止対策や作業手順内容を記述

- ・出発前の飛散防止(ネット・シート等)荷台のシート掛け
- ・現場離脱時の荷台の確認・シート掛け

※今回起きた事象については、上記2点は確実に実施されていた。

※しかし、現場での小移動について明確化されていなかった為、3.を追加する事とした

3. 再発防止のために実施する新たな対策や手順書の見直し内容を具体的に記述

- ・作業中であっても移動を伴う場合は、隙間無くシート養生を行う
- ・作業上ロープ掛けやシート養生が出来ない場合は重し等で十分養生し移動作業を行う
- ・作業中、軽微な飛散の可能性があるものは、車内に入れて飛散防止を図る
- ・作業毎に実施するKY時に、その日の気象条件・移動度合い等を話し合い荷物の飛散養生について明確にし、周知する。

4. 今回の事象の周知

本日6月11日(火) 緊急安全大会を実施して再発防止に向けた指導の実施 130名

※次回安全大会において小集団活動を行い、各班の飛散物の拾い出しとそれに伴う措置が上記対策で補えるかを再確認する。

